

おいしいものギュッと「島の恵み本店」オープン



▶テープカットとくす玉開きで開店を祝いました

4月29日、久賀の国道437号線沿いにJA山口大島の農産物直売所「島の恵み本店」がオープンしました。

この店舗は、みかんなどのかんきつ類をはじめ、生鮮野菜や農産物加工品、海産物、惣菜など豊富な品揃えで、みかんジュースを使ったソフトクリームなども販売。生産者が気軽に出荷できる仕組みをつくることで、より新鮮なものを手軽に購入できるのが魅力で、生産と消費の好循環に期待がふくらみます。

行政連絡員集会を開催しました

平成29年度の行政連絡員集会を4月19日から4月28日にかけて町内4カ所で開催しました。集会では、町長から今年度の施政方針の説明、各部長から各部の重要施策の説明が行われました。その後、行政連絡員さんから町の施策に対する質疑や貴重なご提言をいただきました。

行政連絡員は、町の非常勤特別職の職員として町行政と住民との連絡調整や広報などの文書の配布・回覧を行っていただく方です。

今年度、各行政区（自治会等）で選任された自治会長さんなど274名の方が行政連絡員に委嘱されました。（写真は久賀地区）



しましまタイムズ

地域おこし協力隊員山崎千寿の

SHIMASHIMA TIMES

16

周防大島町定住促進協議会
☎0820(74)1007

今回で2回目の開催となる定住促進協議会主催の「起業の島のプランコンペ」の最終発表が行われました。このプランコンペは昨年の9月末にエントリーを締め切り、フィールドワークとして観光協会事務局長さんや道の駅の支配人さんのお話を聞いたり、中小企業診断士に相談をしたりと長い準備期間を経て迎えた発表です。

発表者は7名でどの方も周防大島が好きで周防大島のことを真剣に考え、時間をかけて練られた想いが伝わってくる発表でした。島にはないけどこんなサービスや商品があったら、こんな体験ができたら楽しいだろうな、というアイデアばかりで、聞いているこちらはワクワクし、また皆さんの緊張が伝わってきてドキドキの時間でもありました。

最優秀賞は長谷川樹子さんの手織り綿布づくりを通して人々の交流の場を作るコミュニケーションビジネスです。長谷川さんは手織り工房を立ち上げられ、将来的に

は綿花の栽培、機織り教室の開催、商品開発と販売を目指されます。実際にご自身で織った優しい色合いの綿布をお持ちになり、発表された熱いプレゼンには吸い込まれるものがありました。

発表者の中には既に起業に向けて具体的に取り組まれている方もいらっしゃいます。これから新しいビジネスを周防大島で見つけたらプランコンペの参加者かもしれないですね。みなさんの温かい応援をよろしくお願いいたします。

さて、今回の海掃除は6月17日(土)午後5時から立岩海水浴場です。島時々半島ツアー参加のみなさんと一緒におしゃべりしながらゆるりと海掃除をしてくださる方大募集です。



▲発表を終えほっとした様子の発表者と審査員